

袋田の滝

大子町

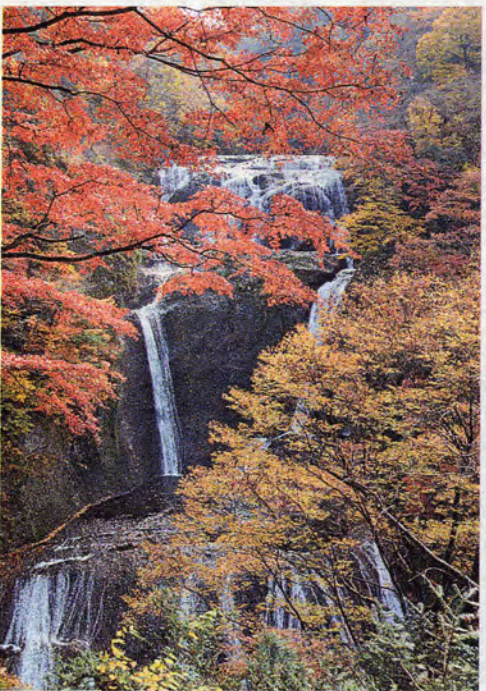
日本三名瀑めいざくの一つで、国の名勝に指定され、本県の代表的な観光スポット。高さ120m、幅73mで大岩壁を4段に落下するためか、あるいは西行法師が「四季に1度ずつ来ないと、真の風趣は味わえない」と絶賛したためか、「四度よどの滝」とも呼ばれる。

約1500万年前、海底火山が爆発。噴出物が冷やされ断崖ができ、久慈川の支流、滝川が流れ落ちる。地質学的にも貴重であり、県北ジオパークのジオサイトの一つでも

ある。

水量が少なければ細い白糸のように、多ければ水しぶきを上げた迫力ある滝にと、さまざまな表情を見せる。春は木々の緑と清らかな水音が織りなすハーモニー、夏はダイナミックな水しぶきとその勢いで描かれる虹、秋は紅葉が渓谷を飾り、冬は神秘的に凍結することもある。近年、「恋人の聖地」にも選ばれ、若いカップルの姿も目立ってきた。

見学には300円（子どもは150円）が必要。町観光協会 ☎0295（72）0285。



日本三名瀑の一つで4段に流れる美しい滝＝大子町袋田